

0554

海軍公報

(部内限) 第二千七百七十八號

海軍大臣官房

昭和十二年十二月一日(水)

○令 達

官房機密第三〇四五號ノ二

本年官房機密第三〇四五號ハ之ヲ廢止ス

昭和十二年十二月二日

海軍大臣

(参照)

本年官房機密第三〇四五號ハ吳鎮守府第二特別陸戰隊及佐世保鎮守府第一特別陸戰隊ノ經費掌理ニ關スル件ナリ

官房第五〇八二號ノ二

本年官房第五〇八二號中左ノ通追加ス

昭和十二年十二月一日

海軍大臣

棧橋使用料

曳船料

(参照)

本年官房第五〇八二號ハ今次事變中ニ限リ第三艦隊司令部附主計科士官ニ於テ支拂フ爲シ得ル經費ノ件ナリ

海軍公報(部内限) 第二千七百七十八號

昭和十二年十二月一日

二七五

官房機密第四九二七號

昭和十三年度ニ於テ左記艦隊、戰隊司令部附タル特務士官以下ハ各其ノ下欄ノ鎮守府ヨリ之ヲ補充スベシ

昭和十二年十二月一日

海軍大臣

記

艦(戰)司令部	補充鎮守府
第四艦隊	吳鎮守府
第三戰隊	佐世保鎮守府
第八戰隊	吳鎮守府
第九戰隊	吳鎮守府
第四水雷戰隊	横須賀鎮守府
官房機密第四九二八號	
第一根據地隊司令部附タル特務士官以下ハ吳鎮守府ヨリ	

リ之ヲ補充スベシ

昭和十二年十二月一日

海軍大臣

房第六一七號 昭和中止 潜潜水艦ニ對シ當該戰隊旗艦主計長ヲシテ母艦主計長ノ職務ヲ執行セシム

昭和十二年十二月一日

海軍大臣

○通牒

經豫第三號ノ三二八

昭和十二年十一月三十日

海軍省經理局長

各支出官殿

外貨拂ニ關スル件通牒

支出官事務規程第二十條ニ依ル外貨拂(時價送金)ニシテ本年内又ハ來年早々支拂ノ爲協議ヲ要スルモノハ十二月十三日迄ニ當局ニ調書提出相成度

經契規第一五六號

昭和十二年十二月一日

海軍省經理局

關係各廳御中

前金拂契約者ニ關スル件通知

本年官房第三七七號ニ依ル首題ノ件左記ノ通承認致候記

氏名	住所
日本建鐵工業株式會社	東京市荒川區三河島町七丁目七八〇
欄米徳次郎	東京市王子區稻付町二丁目一七〇
株式會社鶴卷時計店英工會	東京市下谷區西黒門町一丁目一七〇
株式會社染谷鐵工所	東京市品川區北品川四丁目五六〇
株式會社東京精鍛工所	市川市市川新田一一
日本バルブ製造株式會社	東京市大森區大森三丁目八八
合名會社三英電機製作所	東京市目黒區下目黒一丁目一二〇
株式會社三陽工作所	神戸市須磨區小寺町一丁目一
岡野バルブ製造株式會社	門司市大里中通町三丁目三三五三

日本精器株式會社	東京市品川區大井鮫洲町五〇
高問 繁	東京市大森區馬込町東一丁目一三七九
株式會社東京鐵工所	東京市品川區東大崎一丁目五四六
平井 丈八	東京市品川區東大崎三丁目二九九
佐倉鋼鐵工業株式會社	東京市京橋區西八丁堀二丁目六
理化學興業株式會社	東京市麴町區有樂町一丁目二

經契第三號ノ一四八〇	昭和十二年十月一日	海軍省 經理局長
關係各廳長殿	諸管類購買合併契約更改ノ件通知	昭和十二年七月一日經契第參號ノ一〇二三通牒首題契約中左記ノ通更改致候條御了知相成度
記	更改契約書	昭和十二年七月一日附海軍省經理局長村上春一ト住友金屬工業株式會社、日本鋼管株式會社、日本ステンレス株式會社トノ間ニ契約締結セル鋼管類供給契約ニ關

經契第三號ノ一六一三	昭和十二年十二月一日	海軍省 經理局長
關係各廳長殿	海軍航空機用引拔鋼管（圓管ニ限ル）購買合併契約ノ件通牒	首題ノ件ニ關シ別紙ノ通住友金屬工業株式會社、日本パイプ製造株式會社ト契約締結致候條別紙ニ依リ處理相成度
（別紙ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス）		

（別表十二頁添）	海軍省經理局長 村上 春一
	住友金屬工業株式會社
	日本 鋼管 株式會社
	日本ステンレス株式會社

スル契約書中更改スルコト左ノ如シ
 第一條 價格表ニ別紙ヲ追加ス
 右更改契約ヲ證スル爲メ本書ニ通ヲ作り各自記名調印シテ各共一通ヲ保有スルモノナリ
 昭和十二年十月一日

海軍公報（部内限）第二千七百七十八號

昭和十二年十二月一日

一一七七

<p>(各通) 海軍技術會議議員海軍少將 堀江 六郎 海軍技術會議議員海軍中佐 横井 俊之 海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス</p>	<p>(各通) 海軍大佐 寺岡 謙平 海軍大尉 谷岡 平八郎</p>	<p>上海駐在ヲ命ス 海軍中佐 大野 竹二 海軍大尉 加藤 弘重</p>	<p>上海駐在ヲ命ス 同 久住 忠男 軍事參議官副官(軍事參議官海軍大將永野修身附屬) 海軍大尉佐藤欣重着任迄同職代理ヲ命ス(以上二名 海軍省)</p>	<p>第二課勤務ヲ命ス 海軍中佐 角田 光揚 海軍少佐 伊藤 清六</p>	<p>第一課兼第二課勤務ヲ命ス 同 今村了之介 (各通) 同 佐 雅 毅</p>	<p>第一課勤務ヲ命ス 同 川崎 松平</p>	
<p>第二課兼第一勤務ヲ命ス 海軍機關中佐 齋藤 昇 第一課勤務ヲ命ス(以上二名海軍省人事局)</p>		<p>○雜款 ○司令潜水艦變更 第二十七潜水隊司令ハ十一月二十七日司令潜水艦ヲ呂 號第六十七潜水艦ヨリ呂號第六十六潜水艦ニ變更セリ</p>		<p>○特務艦隱戶行動豫定 地名 着 發 吳 十二月八日 德 山 十二月八日 大 湊 十四日 横 須 賀 十九日 吳 二十四日</p>		<p>○郵便物發送先 第二砲艦隊(長平丸、長白山丸、鮮海丸、でりい丸)宛 自 今 佐世保郵便局氣付(軍事郵便) 第十二驅逐隊(東雲、白雲)宛 自 今 吳 驅逐艦薄雲、叢雲宛</p>	

海軍公報(部内限)第二千七百七十八號 昭和十二年十二月一日

一一七九

自今

機關長宛ノモノ

軍醫長宛ノモノ

主計長宛ノモノ

舞鶴 雲

舞鶴 雲

吳東 雲

同右

軍艦夕張宛

十二月六日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

高雄 賀

高雄 賀

第二十七潜水隊、呂號第六十六潜水隊宛

十二月四日以後

呂號第六十七潜水艦、呂號第六十五潜水艦宛

十二月四日以後

横須賀 賀

横須賀 賀

佐世保

特務艦隱戸宛

三月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

横須賀 賀

横須賀 賀

○艦装具事務所設置

軍艦利根艦装具事務所ヲ在長崎海軍監督官事務所内ニ設置シ十一月二十六日ヨリ事務ヲ開始セリ

○ 艦船所在 指定ヲ要セス

○十二月一日午前十時調

【横須賀】 對馬△愛宕△阿武隈△大鯨△八雲△

▷山城△那珂△春日△陸奥△長門△

▷五十鈴△鳥海△摩耶△高雄△

沖風△峯風△夕風△秋風△夕立△五月雨△

村雨△春雨△時雨△白露△有明△夕暮△

△朧△曙△潮△天霧△朝霧△夕霧△

伊七△

富士△尻矢△

(飛龍)△(劍埼)△(高崎)△

【長浦】 太刀風△帆風△

呂五四△呂五五△呂五六△呂五七△

呂五八△呂五九△伊一△伊二△伊三△

伊四△伊五△

【石川島】 羽風△

【浦賀】 (霞)△

【館山】 澤風△

【大湊】 神風△野風△波風△沼風△

【函館】 大泊△

【吳】 矢矧△韓崎△比叡△最上△三隈△扶桑△

▷伊勢△衣笠△青葉△長鯨△熊野△鈴谷△

日向△鬼怒△神通△大井△龍驤△

夕顔△矢風△薄△葛△藤△白雲△綾波△

浦波△磯波△敷波△

呂五一△呂五三△呂二六△呂二七△

呂二八△伊五一△伊五五△伊七一△

伊呂三四△呂三三△伊五三△伊五四△

伊五七△伊五六△伊五八△伊六八△

伊六九△伊七〇△

攝津△室戸△

(蒼龍)△(千歲)△(千代田)△

【大阪】 古鷹△

(山雲)△(峯雲)△

【神戸】 伊七二△伊七三△

(荒潮)△(朝雲)△(伊八)△(伊七五)△

【相生】 常磐△

石廊△

【江田内】 平戸△淺間△

【舞鶴】 吾妻△

伊東雲△叢雲△薄雲△

伊五二△

(霞)△

【佐世保】 赤城△磐手△長良△加古△金剛△霧島△

榛名△由良△名取△川内△羽黑△那智△

▷迅鯨△球磨△

梨△竹△榎△桃△柳△檜△薑△

菱△蓬△夕風△朝風△文月△水無月△

長月、皐月、白雪、□初霜、若葉、子日、
初春、□陸月、如月、彌生、卯月、□菊月、
望月、夕月、三日月、□大潮、滿潮、
朝潮

呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、
呂六八、呂六七、呂六五、呂六六、
伊五九、伊六〇、伊六三、伊二二、
伊二一、伊二四、伊二三、
敷島、襟裳、鳴戸

(夏雲) (伊七四)

【長崎】(利根)

【馬公】島風、灘風、汐風

知床

【高雄】疾風、追風

【鎮海】楡

【釜山】葦

【作業地】出雲、嚴島、安宅、八重山、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
駒橋、白鷹、沖島、北上、妙高、多摩、
足柄、天龍、龍田、木曾、夕張、
能登呂、加賀、勝力、淀、神威

栗、梅、蓮、雷、響、初雪、吹雪、
曉、澁、狹霧、若竹、吳竹、早苗、芙蓉、
朝顔、刈萱、菊、葵、萩、松風、朝風、

旗風、春風、海風、山風、江風、涼風、
柿

伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、
伊六六、伊六七

伊六六、伊六七

伊六六、伊六七

伊六六、伊六七

伊六六、伊六七

伊六六、伊六七

伊六六、伊六七

伊六六、伊六七

伊六六、伊六七

伊六六、伊六七

伊六六、伊六七

伊六六、伊六七

【航海中】

隱戸 (十一月二十九日佐世保發—吳)

風翔 (十一月三十日佐世保發—吳)

鶴見 (十一月三十日德山發—佐世保)

野島 (一日馬公發—佐世保)

(別表十三頁、辭令公報添)

0563

管鋼本 社會式
” 一 二
一・六 二・三
” 五、〇〇〇
二九七〇 四五一〇

二

0564

鋼本日		住友金工業株式会社		製造所	
一四・八	” ” 二〇 ” 二五	三〇	” ” 三五 ” 四五 ” 五〇 ” 五〇 ” 五五 ” 七〇 ” 一〇〇	内徑(耗)寸	織目無鋼管 第一種
				外徑(耗)寸	
二・六	” ” 三・五 六・五	四・五	五・〇 六・五 五・〇 五・五 三・五 六・〇 二・六 一・八 六・〇 四・〇	厚サ(耗)	法
”	” 一、〇〇〇 五、〇〇〇 八五〇 五、〇〇〇	” ” ” ”	五、〇〇〇 四、〇〇〇 ” ” ” ”	長サ(耗)	
一五〇	二〇〇 一〇〇 一九九 二四〇三〇	一六三二〇	二〇九九〇 二八三〇〇 二七八一〇 三〇八七〇 二〇七〇 二九八八〇 一五二一〇 一一三四〇 五六三〇〇 六七五六〇	一本當り單價	記 事
	在東京監督官		本表單價中ニハ納入地迄ノ荷造、運賃及納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス(以下同斷) 在大阪監督官		

三

0566

社 會 式 株 管 鋼 本 日	社
一〇 ” 一五 ” 二〇 三三 ” ” ” 二五 二九 三〇	” 三五 四〇
一・六 一・六 二・三 一・六 二・六 三・二 二・三 三・五 四・〇 五・〇 二・〇 二・九	二・六 三・五 四・〇
” ” 五、〇 四、〇 ” ” ” ” ” 五、〇 七五 五、〇 〇〇	” ” 五、〇 〇〇
四〇 四〇 四〇 四〇 六一 六七 六四 九三 一〇 一三 一〇 九七 〇〇 〇〇	八四 一五 一三 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
	在東京監督官

五

0567

製造所		寸	法	一本當り單價	記			
女	住					内徑(糎)	外徑(糎)	厚サ(糎)
”	”	二〇	四・五	”	”	五・〇	五六四一六〇	本表單價中ニハ納入地迄ノ荷造、運賃及納入ニ 要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス(以下同斷) 在大阪監督官
”	”	三〇	”	”	”	”	三六一九七〇	
”	”	四〇	”	”	”	”	三七六九六〇	
”	”	五〇	”	”	”	”	二九六七九〇	
”	”	六〇	”	”	”	”	二〇八八九〇	
”	”	七〇	”	”	”	”	一五四〇〇〇	
”	”	八〇	”	”	”	”	一五三七五〇	
”	”	九〇	”	”	”	”	一一八九五〇	
”	”	一〇〇	”	”	”	”	一三八九五〇	
”	”	一一〇	”	”	”	”	一三七一〇〇	
”	”	一二〇	”	”	”	”	一三七二八〇	
”	”	一三〇	”	”	”	”	一五二八八〇	
”	”	一四〇	”	”	”	”	一一六三五〇	
”	”	一五〇	”	”	”	”	九二三〇〇	
”	”	一六〇	”	”	”	”	七六一三〇	
”	”	一七〇	”	”	”	”	五四七四〇	
”	”	一八〇	”	”	”	”	一〇七四一〇	
”	”	一九〇	”	”	”	”	七九五八〇	

縦目無鋼管 第四種

六

0569

株 式 會																				
”	四	”	”	”	”	”	四	”	”	”	”	”	五	”	”	”	”	六	七	
〇	〇						五						〇					〇	〇	
三	五	”	二	二	四	五	二	二	二	三	三	四	五	二	二	二	三	六	二	
五	〇		六	九	〇	〇	九	六	八	五	二	〇	〇	三	六	九	二	五	六	
”	五	二	四	”	”	五	四	二	”	”	”	五	一	五	四	三	三	”	五	一
〇	〇	〇	〇			〇	〇	〇				〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇			〇	〇	〇				〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一	一	四	八	一	一	二	九	六	一	一	一	一	二	一	一	一	四	一	三	
二	八	一	二	一	一	〇	三	八	三	六	六	五	三	一	一	一	一	六	七	
七	九	四	九	六	四	一	一	四	一	〇	三	一	四	六	三	二	五	五	六	
八	〇	〇	〇	九	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	四	〇	〇	〇	〇	〇	

0570

會 式 株 管 鋼 本 日	社
八 ” ” ” ” 一 一 一 ” ” ” 二 二 二 〇 二 五 ” ” ” 〇 二 五 五	三 ” ” ” ” 三 ” 四 〇 ” ” ” 五 ” 〇
二 一 二 ” ” 三 一 一 二 二 三 四 二 三 〇 〇 六 六 ” ” 二 八 六 五 六 二 〇 〇 五	二 一 一 三 三 二 三 九 八 八 五 七 九 二
” ” ” 五 四 一 ” ” ” 五 四 二 五 四 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	五 一 ” 一 ” 五 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
四 四 六 八 六 三 五 三 六 六 六 四 六 七 七 一 四 〇 三 七 〇 二 二 二 二 二 二 二 二 五 四 〇 〇 二 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	八 一 二 二 一 一 四 〇 二 二 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 九 八 四 四 八 八 七 二 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
	在東京監督官

九

0571

	社
	五 ” 六
	三 一 一 〇 〇 八
	” 五 六 〇 〇 〇 〇 〇 〇
	八 二 五 〇 三 〇 〇 四 四

10

0572

住友金工業株式會社		製造所	寸	法	一本當り單價	記	事
内徑(純)	外徑(純)	厚サ(純)					
二一〇		四・五	五、〇〇〇	二〇八六〇〇	本表單價中ニハ納入地迄ノ荷造、運賃及納入ニ 要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス(以下同斷) 在大阪監督官		
一八〇		三・二	〃	一〇八六〇〇			
一七〇		四・〇	〃	一二九〇〇〇			
一六〇		三・五	〃	一〇六〇五〇			
一五〇		〃	〃	八六三二〇			
一四〇		二・九	〃	六六五六〇			
一二〇		三・五	二、五〇〇	三〇七〇〇			
一一〇		二・六	一、〇〇〇	五六〇〇〇			
〃		二・九	五、〇〇〇	八二八〇			
〃		二・六	九六〇〇	三六九〇〇			
七〇		六・四	五、〇〇〇	六一三〇〇			
六〇		四・五	〃	五一一三四〇			
〃		二・六	〃	二七九二〇			
五五		三・二	〃	一五六七〇			
四〇		二・六	〃	一六七九〇			
三五		〃	五、〇〇〇	七六三〇			
			〃	八四七〇			

繼目無鋼管 第六種

管 鋼 本 日 社 會 式 株	社 會 式 株 業 工 屬 金 友 住	社 會 式 株 管 鋼 本 日
		二二二 一五〇 一五〇 二〇〇 二〇〇
二〇 ” 三〇 四〇 五〇	六〇 ” 一〇〇 一五〇 一六〇 二〇〇 二二〇	
二・六 二・九 四・〇 三・二 六・〇	二・九 三・二 三・五 ” 四・〇 一〇・〇 一二・〇	” 二・三 三・二 二・〇 四・〇 二・〇
” ” ” 五〇 四〇 〇〇	” ” ” ” 五〇 〇〇 六〇 〇〇	三〇 〇〇 四〇 〇〇 一五〇 〇〇 二五〇 〇〇 四〇 〇〇
五六〇 四九四 七一六 八四一 一四六一	一〇四五 一九五三 二二二六 七二一〇 九二五二 四五〇五 六五九〇	三三六〇 一〇〇〇 五八〇〇 一五五〇 五七二〇 四七五〇
	在大阪監督官	在東京監督官

一一一

海軍公報

(部内限) 第二千七百七十九號

昭和十二年十二月二日(木)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第二八八〇號ノ三
本年官房機密第二八八〇號ハ之ヲ廢止ス

昭和十二年十二月一日

海 軍 大 臣

(参照) 本年官房機密第二八八〇號ハ第一防備隊ノ經費
掌理ノ件ナリ

官房機密第四九三八號

昭和十二年十二月一日

海 軍 大 臣

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件訓令

昭和十三(教育)年度練習艦艇ノ指揮ニ關シ別ニ定メ
ラレザル練習艦艇ノ配當ハ別表ノ通ト心得ベシ

内令提
要登載

(別表)

昭和十三年官房第二七〇号ニテ本表改正

昭和十三(教育)年度練習艦艇配當表

海軍砲術學校

海軍水雷學校

海軍通信學校

海軍工機學校

横須賀海軍航空隊

海軍航海學校

海軍潜水學校

長門

帆風 呂號第五十八潜水艦

春日

第十九潜水隊

官房第六一五八號

昭和十三年官房第六一五八號ニテ本表廢止

廢止

海軍共済組合執務員ニシテ本年十月一日以後支那事變
中繁劇ナル職務ニ従事スル者ニハ別表ニ依リ昭和十二
年官房第四三二四號第三表第一號乃至第三號ノ規定ヲ
準用シ食料ヲ支給スルコトヲ得

海軍公報(部内限) 第二千七百七十九號

昭和十二年十二月二日

一一八三

經契第三號ノ一七二三

昭和十二年十二月二日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

機雷繫維索購買合併契約中更改ノ件通牒

四月一日經契第三號ノ七八三通牒首題契約中左記ノ通更改致候條了知相成度

記

更改契約書

昭和十二年四月一日附海軍省經理局長村上春一ト東京製網株式會社、關西製網株式會社トノ間ニ契約締結セラル機雷繫維索購買合併契約書中左ノ通更改ス
一、價格表へ左ノ通追加ス

品名	寸法 (徑×托)	單價 (一米ニ付)	記事
機雷深度索	五	一〇三	

二、註文範圍ノ記事ヲ削除ス

右更改契約ヲ證スル爲本書貳通ヲ作り雙方記名調印シテ各自其一通ヲ保有ス

昭和十二年十月一日

海軍省經理局長 村上 春一

海軍公報(部内限)第三千七百七十九號

昭和十二年十二月二日

二八五

○辭令

東京製網株式會社
關西製網株式會社

(各通)

海軍大佐 岡 敬純
海軍中佐 堀内 茂忠
同 佐佐木 高信
同 間 直顯
同 堤 道三
海軍少佐 豊田 隈雄
海軍中佐 後藤 光太郎
同 勝田 治夫

第一課勤務ヲ命ス
(各通)

海軍中佐 山賀 守治

第二課兼第一課勤務ヲ命ス

海軍少佐 林 孝善

第一課兼第二課勤務ヲ命ス(以上二部海軍省軍務局)

海軍大佐 太原 進

瀨岡地方ノ監督任務ニ従事スヘシ

(各通)

海軍中佐 野口 照隆
 同 大田 香苗
 海軍少佐 柴田 文三
 同 山田 正
 同 増田 正吾

總務部第一課勤務ヲ命ス
 同 増田 正吾
 總務部第三課勤務兼技術部第二課勤務ヲ命ス
 主トシテ技術部第二課ニ於テ服務スヘシ
 海軍機關大佐 平田 周二

長崎地方ノ監督任務ニ従事スヘシ
 同 向坂 六郎
 海軍機關中佐 原 豊
 (各通)

在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ
 海軍機關大佐 佐波 次郎
 技術部第一課勤務ヲ命ス

海軍機關中佐 赤松 嘉一郎
 在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ
 海軍主計大佐 吉村 武雄
 在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ
 海軍主計少佐 稻葉 柁

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍技師 栗田 武
 兼テ技術部第一課第二課勤務ヲ命ス

海軍航空特務中尉 深澤 友雄
 總務部第三課勤務ヲ命ス(以上二部海軍航空本部)

第一課勤務ヲ命ス
 海軍主計中佐 中垣 仙吾郎

第三課勤務ヲ命ス(以上二部海軍省經理局)
 海軍主計少佐 石淵 知定

○ 雜 款

○ 旗艦變更
 第二艦隊司令長官ハ十一月三十日旗艦ヲ島海ニ變更セリ

○ 驅逐艦變更
 第六驅逐隊司令ハ十一月三十日司令驅逐艦ヲ響ヨリ雷ニ變更セリ

○ 郵便物發送先
 横須賀警備戰隊司令部宛
 自今 軍艦長門

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十二月二日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、▷八雲▲

▷山城▲、那珂、春日、▷陸奥、長門、

▷五十鈴、▷鳥海、摩耶、高雄

沖風▲、峯風▲、夕風、秋風、▷夕立、五月雨、

村雨、春雨、▷時雨、白露、有明、夕暮、

▷臘、曙、潮、▷天霧、朝霧、夕霧

伊七▲

富士▲、尻矢

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】 大刀風、帆風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五八、呂五九▲、▷伊一、伊二、伊三、

▷伊六、伊四、伊五

【石川島】▷羽風

【浦賀】(霞)▲

【館山】 澤風▲

【大湊】▷神風、野風、波風、沼風

【函館】 大泊

【吳】 矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、扶桑▲、▷伊勢▲、

衣笠、青葉、長鯨▲、熊野、三隈▲、鈴谷、

日向、鬼怒、▷神通、大井、龍驤

夕顔、矢風、▷薄、葛、藤、白雲、▷綾波、

浦波、磯波、敷波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一、伊五五、伊七一▲

▷呂三四、呂三三、▷伊五三、伊五四、

▷伊五七、伊五六、伊五八、▷伊六八、

伊六九、伊七〇

攝津、室戸、隠戸

(蒼龍)、(千歲)▲、(千代田)▲

【大阪】 古鷹▲

(山雲)▲、(峯雲)▲

【神戸】▷伊七二▲、伊七三▲

(荒潮)▲、(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】 常磐▲

石廊▲

【江田内】 平戸、淺間

【舞鶴】 吾妻▲

叢雲▲、薄雲▲

伊五二▲

(叢)▲

【佐世保】 赤城▲、磐手▲、長良、加古、▷榛名、▷霧島、

金剛、▷由良、名取、▷川内、羽黒、那智、

▷迅鯨、▷球磨

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、楡▲、董▲、▷蓼▲、

菱▲、蓬▲、▷夕風、朝風、▷文月、水無月、

長月、皐月、□初霜、若葉、子日、初春、
□睦月、如月、彌生、卯月、□菊月、望月、
夕月、三日月、□朝潮、滿潮▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六四▲、呂六五▲、

呂六六▲、呂六七▲、呂六八▲、呂六九▲、

伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、

伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、

伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、

伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、伊七九、

伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、伊八四、

伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、伊八九、

伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、伊九四、

伊九五、伊九六、伊九七、伊九八、伊九九、

伊一〇〇、伊一〇一、伊一〇二、伊一〇三、伊一〇四、

伊一〇五、伊一〇六、伊一〇七、伊一〇八、伊一〇九、

伊一一〇、伊一一一、伊一一二、伊一一三、伊一一四、

伊一一五、伊一一六、伊一一七、伊一一八、伊一一九、

伊一二〇、伊一二一、伊一二二、伊一二三、伊一二四、

伊一二五、伊一二六、伊一二七、伊一二八、伊一二九、

伊一三〇、伊一三一、伊一三二、伊一三三、伊一三四、

伊一三五、伊一三六、伊一三七、伊一三八、伊一三九、

伊一四〇、伊一四一、伊一四二、伊一四三、伊一四四、

伊一四五、伊一四六、伊一四七、伊一四八、伊一四九、

伊一五〇、伊一五一、伊一五二、伊一五三、伊一五四、

伊一五五、伊一五六、伊一五七、伊一五八、伊一五九、

伊一六〇、伊一六一、伊一六二、伊一六三、伊一六四、

伊一六五、伊一六六、伊一六七、伊一六八、伊一六九、

伊一七〇、伊一七一、伊一七二、伊一七三、伊一七四、

伊一七五、伊一七六、伊一七七、伊一七八、伊一七九、

伊一八〇、伊一八一、伊一八二、伊一八三、伊一八四、

伊一八五、伊一八六、伊一八七、伊一八八、伊一八九、

伊一九〇、伊一九一、伊一九二、伊一九三、伊一九四、

伊一九五、伊一九六、伊一九七、伊一九八、伊一九九、

伊二〇〇、伊二〇一、伊二〇二、伊二〇三、伊二〇四、

伊二〇五、伊二〇六、伊二〇七、伊二〇八、伊二〇九、

伊二一〇、伊二一一、伊二一二、伊二一三、伊二一四、

【長崎】(利根)▲

【馬公】島風、灘風、汐風、□松風

【釜山】草▲

【作業地】□出雲、▷天龍、龍田、▷妙高、多摩、嚴島、

▷安宅、八重山、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、熱海、二見、駒橋、白鷹、

▷沖島、□足柄、▷木曾、▷夕張、能登呂、

▷加賀、勝力、淀、神威、北上

栗、梅、蓮、□雷、電、響、□初雪、吹雪、

白雪、□曉、漣、袂霧、□若竹、吳竹、早苗、

□芙蓉、朝顔、刈萱、□菊、葵、萩、朝風、

旗風、春風、□海風、山風、江風、涼風、

榆、大潮

□伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、□伊六五、

伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、

伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、

伊七六、伊七七、伊七八、伊七九、伊八〇、

伊八一、伊八二、伊八三、伊八四、伊八五、

伊八六、伊八七、伊八八、伊八九、伊九〇、

伊九一、伊九二、伊九三、伊九四、伊九五、

伊九六、伊九七、伊九八、伊九九、伊一〇〇、

伊一〇一、伊一〇二、伊一〇三、伊一〇四、伊一〇五、

【航海中】

風翔(十一月三十日佐世保發—吳)

疾風、追風(一日高雄發—佐世保)

東雲(一日舞鶴發)

野島(一日馬公發—佐世保)

梯(一日鎮海發—釜山)

伊六六、伊六七

伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、

伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、

伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、

伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、

伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、

伊九三、伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、

伊九八、伊九九、伊一〇〇、伊一〇一、伊一〇二、

伊一〇三、伊一〇四、伊一〇五、伊一〇六、伊一〇七、

伊一〇八、伊一〇九、伊一一〇、伊一一一、伊一一二、

伊一一三、伊一一四、伊一一五、伊一一六、伊一一七、

伊一一八、伊一一九、伊一二〇、伊一二一、伊一二二、

伊一二三、伊一二四、伊一二五、伊一二六、伊一二七、

伊一二八、伊一二九、伊一三〇、伊一三一、伊一三二、

伊一三三、伊一三四、伊一三五、伊一三六、伊一三七、

伊一三八、伊一三九、伊一四〇、伊一四一、伊一四二、

伊一四三、伊一四四、伊一四五、伊一四六、伊一四七、

伊一四八、伊一四九、伊一五〇、伊一五一、伊一五二、

伊一五三、伊一五四、伊一五五、伊一五六、伊一五七、

伊一五八、伊一五九、伊一六〇、伊一六一、伊一六二、

伊一六三、伊一六四、伊一六五、伊一六六、伊一六七、

伊一六八、伊一六九、伊一七〇、伊一七一、伊一七二、

伊一七三、伊一七四、伊一七五、伊一七六、伊一七七、

伊一七八、伊一七九、伊一八〇、伊一八一、伊一八二、

伊一八三、伊一八四、伊一八五、伊一八六、伊一八七、

伊一八八、伊一八九、伊一九〇、伊一九一、伊一九二、

伊一九三、伊一九四、伊一九五、伊一九六、伊一九七、

伊一九八、伊一九九、伊二〇〇、伊二〇一、伊二〇二、

伊二〇三、伊二〇四、伊二〇五、伊二〇六、伊二〇七、

伊二〇八、伊二〇九、伊二一〇、伊二一一、伊二一二、

伊二一三、伊二一四、伊二一五、伊二一六、伊二一七、

伊二一八、伊二一九、伊二二〇、伊二二一、伊二二二、

伊二二三、伊二二四、伊二二五、伊二二六、伊二二七、

伊二二八、伊二二九、伊二三〇、伊二三一、伊二三二、

伊二三三、伊二三四、伊二三五、伊二三六、伊二三七、

伊二三八、伊二三九、伊二四〇、伊二四一、伊二四二、

伊二四三、伊二四四、伊二四五、伊二四六、伊二四七、

(號外三頁添)

(限 内 部)

0580

海軍公報(部内限)號外

○ 令 達

昭和十二年十二月二日(木)
海軍大臣官房

官房第六〇八一號

艦營需品定額表中數量左ノ通定ム

昭和十二年十一月三十日

海 軍 大 臣

砲 術 長 主 管

艦 戰			艦船部隊名				區 別	備 品	消 耗 品
榛名、比叡	長門型、金剛、霧島	扶桑型、伊勢型	種 類	番 號	品 名	數 量			
2	3	4	個	10	工業要具筐小	1	備		
4	4	4	個	12	水力機漏斗	1			
1	1	1	個	13	グリセリン濕	1			
1	1	1	個	14	グリセリン拵	1	品		
17	17	17	疋	1	術帶革	8			
			記 事						

海軍公報(部内限)號外

0581

海防艦	敷設艦			潜水母艦			水上機母艦	航空母艦			最上型巡洋艦	二等巡洋艦(最上型ヲ除ク)	一等巡洋艦	
	勝利、白鷹、八重山	嚴島、沖島	常磐	韓崎、駒橋	大鯨	迅鯨、長鯨		鳳翔	龍驤、蒼龍	加賀、赤城			古鷹型、青葉型	高雄型、妙高型
		1			1				1	2	1	1	1	1
3	1	1	2	1	1	1	1	1	1	3	2	1	2	2
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	1	2	2	0.5	2	4	6	5	2	4	7

海軍公報(部内限) 號外

二

0582

海軍公報 (部内限) 號外

駐滿海軍部	臨時海軍防備隊	霞ヶ浦海軍航空隊	防備隊			關	兵	海	潜水艦、特務艦、特務艇	二等驅逐艦、水雷艇、掃海艇	等艦		砲艦
			馬公	大湊、舞鶴	佐世保、鎮海						吳	吹雪型、初春型	
2	2	1	3	2	4	2	5	3	2	1	1	1	1
1	2	1	1	1	2	2	2	3	2	1	1	1	1
1	2	1	1	1	2	2	2	3	2	1	1	1	1
										0.5	1	1.5	1

0583

(限 内 部) 廢止

海軍公報

(部内限) 第二千七百八十號

昭和十二年十二月三日(金)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第四九四〇號 昭和十二年機密第六一七號ノニニテ本號廢止
第一根據地隊司令部ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ朝日主計長ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十二年十二月一日

海軍大臣

○雜 款

○旗艦變更
第三航空戰隊司令官ハ十一月二十四日旗艦ヲ能登呂ヨリ香久丸ニ、佐世保警備戰隊司令官ハ十二月一日金剛ヨリ榛名ニ孰モ變更セリ

○將旗撤去
第五戰隊司令官ハ十二月一日退隊、第一航空戰隊司令官ハ同日退隊將旗ヲ孰モ撤去セリ

○旗艦指定

第七戰隊司令官ハ十二月一日旗艦ヲ熊野ニ指定セリ

○將旗掲揚

第十一戰隊司令官ハ十二月一日將旗ヲ安宅ニ、第三潜水戰隊司令官ハ同日球磨ニ孰モ掲揚セリ

○驅逐艦變更

第二十五驅逐隊司令官ハ十二月一日一時司令驅逐艦ヲ大潮ヨリ朝潮ニ變更セリ

○郵便物發送先

第四艦隊司令部、軍艦足柄宛

十二月十日迄ニ到達見込ノモノハ 高 雄
其ノ後ハ 基 隆

軍艦鳳翔宛

自 今 横 須 賀

第二十九驅逐隊(疾風、追風)宛

自 今 佐 世 保

第十三潜水隊(伊二一、伊二三)宛

十二月六日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保

海軍公報(部内限) 第二千七百八十號 昭和十二年十二月三日

一一八九

0584

海軍公報(部内限) 第二千七百八十號 昭和十二年十二月三日

一一九〇

其ノ後ハ

佐世保郵便局氣付

第二掃海隊、第三掃海隊宛

自今

佐世保郵便局氣付(軍事郵便)

第二十一水雷隊(千鳥、初雁、直鶴、友鶴)宛

自今

佐世保

○退廳

前任海軍大學校長海軍中將 佐藤三郎 本月一日退廳

○懲罰

懲罰言渡書

0585

海軍公報(部内限) 第二千七百八十號

昭和十二年十二月三日

一一九一

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

0586



海軍公報(部内限) 第二千七百八十號
昭和十二年十二月三日

二九二

○艦船所在

○十二月三日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、八雲▲

▷山城▲、那珂、春日、陸奥、長門、

▷五十鈴、口鳥海、摩耶、高雄

沖風▲、峯風▲、夕風、秋風、夕立、五月雨、

村雨、春雨、時雨、白露、有明、夕暮、

隴、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧

伊七▲

富士▲、矢尻▲

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】 太刀風、帆風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、呂五九、伊一、伊二、伊三、

伊六、伊四、伊五

【石川島】 羽風

【浦賀】 (霞)▲

【館山】 澤風▲

【大湊】 神風、野風、波風、沼風

【函館】 大泊

【吳】 矢矧、韓崎、比叡、最上、扶桑、伊勢、

衣笠、青葉、長鯨、熊野、三隈、鈴谷、

日向、鬼怒、神通、大井、龍驤、鳳翔、

夕顔、矢風、薄、葛藤、東雲、白雲、

綾波、浦波、磯波、敷波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一、伊五五、伊七一▲

呂三四、呂三三、伊五三、伊五四、

伊五七、伊五六、伊五八、伊六八、

伊六九、伊七〇

攝津、室戸、隠戸

(蒼龍)、(千歲)、(千代田)▲

【大阪】 古鷹▲

(山雲)▲、(峯雲)▲

【神戸】 伊七二▲、伊七三▲

(荒潮)▲、(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】 常磐▲

石廊▲

【江田内】 平戸、浅間

【舞鶴】 吾妻▲

叢雲▲、薄雲▲

伊五二▲

(霞)▲

【佐世保】 赤城▲、磐手▲、長良、加古、榛名、霧島、

金剛、由良、名取、川内、羽黑、那智、

迅鯨、球磨、北上

梨、竹、榎、桃、柳、檜、董、蓼、

菱、蓬、夕風、朝風、文月、水無月、

長月、皐月、□初霜、若葉、子日、初春、
 □陸月、如月、彌生、卯月、□菊月、望月、
 夕月、三日月、□朝潮、滿潮、□疾風、
 追風、□海風、山風、江風、涼風、
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
 呂六一、呂六二、呂六四、呂六三、
 呂六八、呂六六、呂六五、呂六七、
 □伊五九、伊六〇、伊六三、□伊二二、
 伊二一、□伊二四、伊二三
 □千鳥、初雁、友鶴、眞鶴
 敷島、襟裳、鳴戸、間宮、鶴見、洲埼
 (夏雲) (伊七四)
 (利根)
 長崎 (利根)
 馬公 □松風
 知床
 基隆 狹霧
 鎮海 □葦
 釜山 □梯
 【作業地】 □出雲、□天龍、龍田、□妙高、多摩、嚴島、
 □安宅、八重山、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、
 比良、保津、熱海、二見、駒橋、白鷹、
 □沖島、□足柄、□木曾、□夕張、能登呂、
 □加賀、勝力、淀、神威
 栗、梅、逆、□雷、電、響、□初雪、吹雪、
 白雪、□曉、漣、□若竹、吳竹、早苗、

【航海中】
 野島 (一日馬公發—佐世保—)
 佐多 (二日馬公發—佐世保—)
 □芙蓉、朝顔、刈萱、□菊、葵、萩、朝風、
 旗風、春風、楡、大潮、□島風、灘風、汐風、
 □伊六一、伊六二、伊六四、□伊六五、
 伊六六、伊六七
 □鴻、隼、鶴、鴨、□雉、鷺、雁、鳩
 □掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
 □掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、膠州、早鞆

(號外三頁添)

0589

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十二年十二月三日(金)

○ 令 達

官房第二三八三號ノ五

海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和十二年十二月二日

海 軍 大 臣

二金屬、材料類第三七項及三機械、器具類第二項中「三井物産株式會社」ヲ「株式會社玉造船所」ニ改メ工場名ヲ削ル

二金屬、材料類第五項中株式會社神戸製鋼所ノ工場名ヲ門司仲銅工場ニ、工場所在地ヲ門司市小森江町ニ改ム

三機械、器具類第一六項、同第一九項及同第四四項中岡本工業株式會社ノ所在地及工場所在地欄中「中區」ヲ「昭和區」ニ改ム

四電氣機械、器具、材料類第一五項中「奥田憲太郎」ヲ「オクダ電機株式會社」ニ改メ工場名ヲ削ル
(電氣蒸氣器ヲ除ク)

四電氣機械、器具、材料類第二二項、同第二三項及同第二五項中「合名會社奈藏電機工作所」ヲ「株式會社」

海軍公報(部内限) 號外

奈藏電機工作所」ニ改ム

四電気機械、器具、材料類第四二項中日本碍子株式會社ノ所在地及工場所在地欄中「南區」ヲ「昭和區」ニ改ム

四電気機械、器具、材料類第四八項ニ左ノ如ク加フ

愛知化學工業株式會社

名古屋市熱田區千早字船方一

名古屋市熱田區千早字船方一

五計器、通信器類第一六項中「竹本正則」ヲ「株式會社竹本電機計器製作所」ニ改メ工場名ヲ削ル

五計器、通信器類第一八項及同第三八項中株式會社柳製作所ノ所在地及工場所在地ヲ東京市世田谷區玉川川賀町一丁目一四八八ニ改ム

一三ペイント及原料類第七項ノ二及同第九項ノ一中「株式會社高田船底塗料製造所」ヲ「日本油脂株式會社」

ニ、所在地ヲ東京市芝區田村町一丁目二ニ改メ、工場名欄ニ「五反田塗料工場」ヲ加フ

二〇ベルト類第五項中「蒲田調帯株式會社」ヲ「東海護謨工業株式會社」ニ改ム

官房機密第九五四號ノ四

臨時海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和十二年十二月二日

海軍大臣

臨時海軍購買名簿之部

三機械、器具類第八項、同第三二項及同第三三項中石井精密工業株式會社ノ所在地ヲ東京市蒲田區西六郷三丁目二二三改ム

三機械、器具類第一八項中岡本工業株式會社ノ所在地及工場所在地欄中「中區」ヲ「昭和區」ニ改ム

五計器、通信器類第二三項中「森 札幌」ヲ「株式會社森計器製作所」ニ、所在地ヲ大阪市西淀川區御幣島町三五三二改メ工場名ヲ削ル

五計器、通信器類第二三項ニ左ノ如ク加フ

株式會社岡原計器製作所(壓力計ノミ)
(機關用ヲ除ク)

東京市京橋區銀座六丁目三

東京市品川區北品川四丁目五五六

二〇ベルト類第二項中「蒲田調帶株式會社」ヲ「東海護謨工業株式會社」ニ改ム

臨時部外秘購買名簿之部

一砲類之部第九項及同第一〇項中「三井物産株式會社」ヲ「株式會社玉造船所」ニ改メ工場名ヲ削ル

二〇無線電信電話之部(兵器)第三三項、同第三四項ノ二及同第三四項ノ三中「株式會社三陽社製作所」ヲ

「日本通信工業株式會社」ニ、所在地ヲ東京市麴町區丸ノ内一丁目六ニ改メ工場名欄ニ三陽社製作所ヲ加フ

海軍公報

(部内限) 第二千七百八十一號

海軍大臣官房

昭和十二年十二月四日(土)

○ 令 達

官房第六二一八號

昭和十年内令第四百三十八號臨時増置員中聯合艦隊司令部附タル特務中少尉、兵曹長ハ海軍特務士官准士官配屬命課規則第五條ノ規定ニ拘ラズ吳鎮守府ヨリ之ヲ補充スベシ

昭和十二年十二月一日

海 軍 大 臣

○ 辭 令

海軍中佐 大田 香苗

第五課兼第一課勤務ヲ命ス(水師水路部)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

横須賀警備戰隊司令官ハ十二月一日旗艦ヲ山城ヨリ長門ニ、佐世保警備戰隊司令官ハ同日旗艦ヲ金剛ヨリ榛名ニ孰モ變更セリ

○ 將艦掲揚

練習艦隊司令官ハ十二月二日將旗ヲ八雲ニ、第一航空戰隊司令官ハ同日旗艦ヲ加賀ニ孰モ掲揚セリ

○ 司令驅艦變更

第四驅逐隊司令ハ十二月一日司令驅逐艦ヲ羽風ヨリ太刀風ニ、第九驅逐隊司令ハ同日司令驅逐艦ヲ白露ニ孰モ變更セリ

○ 郵便物發送先

第一防備隊宛
自今 基隆局氣付(軍事郵便)

○ 郵便物發送先變更(十二月三日)

第四艦隊司令部、軍艦足柄宛
當分ノ間 基 隆

○ 着任、退廳

海軍公報(部内限) 第二千七百八十一號

昭和十二年十二月四日

一一九五

0593

海軍公報(部内限) 第二千七百八十一號 昭和十二年十二月四日

一一九六

新任 海軍省 海軍少將 新見 政一 本月一日着任
 前任 同 海軍中將 住山 徳太郎 本月二日退廳

(Faint vertical text columns, likely containing official notices or reports, mostly illegible due to low contrast and scan quality.)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月四日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、八雲▲、

山城▲、那珂▲、春日▲、陸奥▲、長門▲、

五十鈴▲、鳥海▲、摩耶▲、高雄▲、

沖風▲、峯風▲、夕風▲、秋風▲、夕立▲、五月雨▲、

村雨▲、春雨▲、時雨▲、白露▲、有明▲、夕暮▲、

隴▲、曙▲、潮▲、天霧▲、朝霧▲、夕霧▲、

伊七▲、

富士▲、矢尻▲、

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

太刀風▲、帆風▲、

呂五四▲、呂五五▲、呂五六▲、呂五七▲、

呂五八▲、呂五九▲、伊一▲、伊二▲、伊三▲、

伊六▲、伊四▲、伊五▲

【石川島】

羽風▲

【浦賀】

(霞)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

神風▲、野風▲、波風▲、沼風▲

【函館】

大泊

【吳】

矢矧▲、韓崎▲、比叡▲、最上▲、扶桑▲、伊勢▲、

衣笠▲、青葉▲、長鯨▲、熊野▲、三隈▲、鈴谷▲、

日向▲、鬼怒▲、神通▲、大井▲、龍驤▲、鳳翔▲、

夕顔▲、矢風▲、薄雲▲、藤▲、東雲▲、白雲▲、

綾波▲、浦波▲、磯波▲、敷波▲

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一▲、伊五五▲、伊七一▲、

呂三四▲、呂三三▲、伊五三▲、伊五四▲、

伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲、伊六八▲、

伊六九▲、伊七〇▲、

攝津▲、隱戸▲

(蒼龍)▲、(千歲)▲、(千代田)▲

大阪▲、古鷹▲

(山雲)▲、(峯雲)▲

【神戸】

伊七二▲、伊七三▲

(荒潮)▲、(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

石廊▲

【江田内】

平戸▲、淺間▲

【舞鶴】

吾妻▲

叢雲▲、薄雲▲

伊五二▲

(霞)▲

【佐世保】

赤城▲、磐手▲、加古▲、榛名▲、霧島▲、金剛▲、

由良▲、名取▲、川内▲、迅鯨▲、羽黑▲、那智▲、

球磨▲、北上▲、

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、蓼▲、

蓬▲、夕風▲、朝風▲、文月▲、水無月▲、

海軍公報(部内限) 第二千七百八十一號

昭和十二年十二月四日

一九一七

長月、皐月、□初霜、若葉、子日、初春、
□睦月、如月、彌生、卯月、□菊月、望月、
夕月、三日月、□朝潮、滿潮、□疾風、
追風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六三、
呂六八、□呂六六、呂六五、呂六七、
□伊五九、伊六〇、伊六三、□伊二二、
伊二一、□伊二四、伊二三

□千鳥、初雁、友鶴、真鶴

敷島▲、鳴戸、間宮、鶴見、洲埼

(夏雲)▲(伊七四)▲

【長崎】(利根)▲

【馬公】□松風、春風、朝風

【基隆】狹霧

【鎮海】□葦

【釜山】□梯

【作業地】□出雲、▷天龍、龍田、▷妙高、多摩、▷安宅、

嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、

熱海、二見、▷木曾、神威、白鷹、□足柄、

▷沖島、嚴島、能登呂、駒橋、勝力、淀、

▷夕張、▷加賀、八重山

栗、梅、蓮、□雷、電、響、□初雪、吹雪、

白雪、□曉、漣、□若竹、吳竹、早苗、

□芙蓉、朝顔、刈萱、□菊、葵、萩、旗風、

檣、大潮、□島風、灘風、汐風、□山風、
海風、江風、涼風
□伊六一、伊六二、伊六四、□伊六五、
伊六六、伊六七
□鴻、隼、鵠、鴨、□雉、鷺、雁、鳩
□掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
□掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、
掃一八
朝日、膠州、早柄、襟裳、室戸

【航海中】

野島 (一日馬公發—佐世保)

佐多 (二日馬公發—佐世保)

長良 (三日佐世保發—高雄)

知床 (三日馬公發—基隆)

0596

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千七百八十二號

海軍大臣官房

昭和十二年十二月六日(月)

○令 達

官房第五九〇一號ノ二
昭和十二年度歳出科目中左ノ通追加ス
昭和十二年十一月三十日

海軍大臣

款	項	目	解 疏	會計科目 電信略號
經常部				
(海軍本省)(俸給)				
	×賞與			
臨時部				
(航空高層氣象圖)(誌其他調製費)				
	×賞與			
				コヤ

官房機密第三六五五號ノ九

臨時軍事費整理規程中左ノ通改正ス

昭和十二年十二月一日

海軍大臣

第二條第一號(二)中

「特設港務部職員」ノ上ニ「特設根據地隊司令部職員、」ヲ加フ

同條第三號(一)及(二)中

「特設港務部」ノ上ニ「特設根據地隊司令部、」ヲ加フ

同條第六號(一)中

「特設港務部」ノ上ニ「特設根據地隊司令部、」ヲ加フ

同條第八號(二)中

「特設港務部」ノ上ニ「特設根據地隊司令部、」ヲ加フ

海軍公報(部内限) 第二千七百八十二號

昭和十二年十二月六日

一三九九

官房第六二三八號

海軍軍用郵便所過剩金ヲ海軍經費ニ振替手續申左ノ通改正ス

昭和十二年十二月六日

海軍大臣

一、二、三及四中「郵便所設置艦船」ヲ「郵便所又同派出所設置艦船部隊」ニ、「第三艦隊主任出納官吏」ヲ「支那方面艦隊主任出納官吏」ニ、「第三艦隊分任出納官吏」ヲ「支那方面艦隊分任出納官吏」ニ改ム
書式中「郵便所設置艦船出納官吏」ヲ「郵便所(派出所)設置艦船(部隊)出納官吏」ニ、「第三艦隊主任出納官吏」ヲ「支那方面艦隊主任出納官吏」ニ改ム

○ 辭令

海軍少將 新見 政一
海軍軍醫少將 田中肥後太郎
海軍大佐 大西 新藏
海軍中佐 角田 光揚
海軍少佐 今村了之介
海軍機關中佐 齋藤 昇
(各通)

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍軍醫大佐 大須賀都美次
同 杉本 豊松
同 中川 平五郎

(各通)

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍少將 三川 軍一
同 鍋島 茂明
海軍大佐 大西 新藏
同 中 澤 佑
海軍中佐 安川 正治
海軍少佐 今村了之介
海軍機關大佐 美奈川 武保
海軍機關中佐 齋藤 昇
海軍軍醫大佐 大須賀都美次
海軍中將 住山 徳太郎
海軍少將 新見 政一
海軍主計少將 大東 健夫
海軍大佐 松永 次郎
同 安住 義一
同 堀江 義一郎
海軍中佐 羽田 次郎
(各通)

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

海軍機關大佐 山中朋二郎
海軍軍醫大佐 大須賀都美次
海軍軍醫中佐 有馬 玄
海軍主計大佐 紺野 逸彌

(各通)

海軍軍醫大佐 大須賀都美次
同 金澤 信太郎
同 中川 平五郎

海軍軍醫學生藥劑學生主計學生及海軍造船學生造船學生造兵學生同候補者並生徒志願者身體検査委員ヲ命ス

(各通)

海軍軍醫大佐 若生 良穂
海軍軍醫中佐 金井 泉
同 水流 義雄
同 川田 理
同 稻田 勉
海軍軍醫少佐 福山 邦寛
同 小倉 良男
海軍軍醫大尉 星野 萬吉
同 米川 太郎

海軍豫備生徒志願者體格検査委員ヲ命ス

(各通)

海軍少將 堀江 六郎
海軍中佐 古川 保
同 角田 光揚
海軍少佐 柴田 文三
同 根來 茂樹

海軍航空豫備學生採用試験委員ヲ命ス

海軍軍醫少將 田中肥後太郎
海軍大佐 三戸 壽
海軍中佐 小倉 眞二

(各通)

同 今和泉喜次郎
同 安川 正治
同 小野田捨次郎
海軍少佐 堀之内 美義
海軍機關中佐 釜田 勇
同 野口 六郎
同 齋藤 昇
海軍軍醫大佐 大須賀都美次
恩賜研學資金受賞者銜委員ヲ命ス
海軍大佐 西田 正雄
海軍中佐 今和泉喜次郎

(各通)

表彰審査委員會委員ヲ命ス

海軍大佐 大西 新藏
海軍中佐 堀内 茂忠

海軍少將 新見 政一

海軍用語調査委員會委員長ヲ命ス

海軍中佐 山本 善雄

海軍少佐 堀之内 美義

海軍機關中佐 野口 六郎

同 川内 鎮敏

海軍主計少佐 青山 久二

海軍用語調査委員會委員ヲ命ス

海軍少將 新見 政一

海軍中佐 篠田 勝清

同 横山 一郎

(博覽會主務幹事) 海軍少佐 山口 肇

(幹事) 海軍主計少佐 石淵 知定

二千六百年委員會委員ヲ命ス

海軍大佐 大西 新藏

海軍中佐 山本 善雄

海軍軍醫大佐 大須賀 都美次

海軍主計大佐 白神 君太郎

(各通)

海軍服制研究調査委員會委員ヲ命ス

海軍大佐 橋本 象造

陸海軍軍需工業動員協定委員會委員ヲ命ス

海軍中佐 川井 繁藏

(各通)

同 後藤 光太郎

海軍機關少佐 徳田 徳男

陸海軍軍需工業動員協定委員會幹事ヲ命ス

海軍主計大佐 白神 君太郎

陸海軍軍需工業動員協定委員會委員ヲ命ス

海軍大佐 大西 新藏

同 中澤 佑

海軍懲罰令改正委員會委員ヲ命ス

海軍中佐 山本 善雄

海軍少將 岩村 清一

同 三川 軍一

海軍大佐 橋本 象造

同 松崎 彰

海軍中佐 篠田 勝清

同 杉浦 矩郎

燃料政策調査委員會委員ヲ命ス

海軍少將 岩村 清一

海軍公報(部内限) 第二千七百八十三號

昭和十二年十二月六日

11011

同	三川 軍一	海軍主計大佐	米花 徳太郎
同	稻垣 生起	同	白神 君太郎
海軍大佐	大西 新藏	(幹事) 海軍主計少佐	青山 久二
同	橋本 象造	軍需品平時生産協定中央委員會委員ヲ命ス	
(各通)	同	海軍大佐	三戸 壽
(幹事)	海軍中佐	海軍中佐	山本 善雄
(幹事)	同	海軍軍醫大佐	大須賀 都美次
(幹事)	同	海軍主計大佐	白神 君太郎
(幹事)	同	海軍主計中佐	奥田 司
(幹事)	海軍少佐	兵食研究調査委員會委員ヲ命ス	
軍港要港勢力標準調査委員會委員ヲ命ス	柴田 文三	海軍少佐	中村 三男
(各通)	海軍少將	滿洲國海軍學生豫定者指導官ヲ命ス(以上三省)	
	岩村 清一	第一課勤務ヲ命ス	
	海軍大佐	海軍中佐	今和泉 喜次郎
	原 忠一	(各通)	
海軍工作廳會計制度調査委員會委員ヲ命ス	海軍中佐	海軍中佐	石原 聿
	山本 善雄	同	安川 正治
海軍工作廳會計制度調査委員會幹事ヲ命ス	海軍大佐	第二課兼第一課勤務ヲ命ス	
	原 忠一	海軍機關中佐	野口 六郎
	橋本 象造	第三課勤務ヲ命ス(以上三課海軍省教育局)	
(幹事)	海軍中佐		
(幹事)	上原 義雄		
(幹事)	後藤 光太郎		
(各通)	同		
	杉浦 矩郎		

海軍主計中佐 前田 茂
中華民國在勤帝國大使館附武官及駐在員事務所ニ要
スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス

海軍主計大佐 加藤 信夫
臨時資金前渡官吏ヲ免ス(計部海軍省經理局支出官)

海軍少將 山田 清
神戸地方ノ監督任務ニ従事スヘシ

海軍大佐 太原 進
福岡地方ノ監督任務ニ従事スヘシ

同 岩瀬 正巳
室蘭地方ノ監督任務ニ従事スヘシ

海軍機關大佐 平田 周二
長崎地方ノ監督任務ニ従事スヘシ

海軍中佐 沙崎 進
海軍機關大佐 中山 寛

(各通)
海軍主計少佐 稻葉 稔
海軍造兵大尉 永嶺 忠雄

海軍技師 村山 源
在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

(各通)
海軍少佐 近藤 一肇
海軍機關少佐 日高 安壯

在浦賀首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍機關大佐 岩川 隆澄
海軍機關中佐 赤松 嘉一郎

(各通)
海軍技師 宇佐 幸助
在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍機關中佐 西山 健藏
海軍造船中佐 梶原 正夫

(各通)
海軍造船中佐 堀原 正夫
在長崎首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍機關中佐 富田 一郎
海軍造船中佐 堀 薄

同 加藤 癸巳雄
海軍技師 高垣 熊市

(各通)
海軍技師 道財 道助
在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍主計大佐 吉村 武雄
在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在神戸監督長ノ
命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍技師 道財 道助
自今在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍技師 百木 健
自今在八幡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上
計部海軍艦政本部)

海軍公報(部内限)第二千七百八十二號 昭和十二年十二月六日

海軍造兵少將男爵 向山 均(技研)

本年官房機密第四四八三號訓令假稱九七式短二號送信機一型及同二型實驗委員長ヲ命ス

海軍大佐 佐々木 清恭(艦本)

海軍中佐 汐 崎 進(東監)

同 鈴木 光信(艦本)

同 安川 正治(教育)

同 高原 久衛(艦本)

同 松村 翠(軍務)

海軍少佐 石原 宇一(軍務)

同 櫻 義 雄(通校)

同 三浦 伊織(軍令)

海軍造兵大佐 宮澤 竹藏(艦本)

海軍技師 池谷 増太(技研)

同 大野 茂(艦本)

同 柴田 繁吉(東監)

本年官房機密第四四八三號訓令假稱九七式短二號送信機一型及同二型實驗委員ヲ命ス

海軍技手 西原 貢(東監)

同 津村 孝雄(技研)

同 米田 清(東監)

(各通)

同 益子 透(技研)

本年官房機密第四四八三號訓令假稱九七式短二號送信機一型及同二型實驗委員附ヲ命ス(以上註同)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第十九驅逐隊司令八十二月二日司令驅逐艦ヲ綾波ヨリ磯波ニ變更セリ

○着任、退廳

新任 軍令部長 海軍中將 古賀 峯一 本月二日着任

前任 同 海軍中將 嶋田 繁太郎 同 日退廳

○艦船所在

指印ハハホヘ
指定ヲ要セズ

○十二月六日午前十時調

【横須賀】

對馬、愛宕、阿武隈、大鯨、八雲、
高雄、山城、那珂、春日、陸奥、長門、
五十鈴、口島海、摩耶

沖風、峯風、夕風、夕立、五月雨、村雨、
春雨、時雨、白露、有明、夕暮、朧、
曙、潮、天霧、朝霧、夕霧

伊七、富士、矢尻、
飛龍、劍埼、高崎

【長浦】

太刀風、帆風、
呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、
呂五八、呂五九、伊一、伊二、伊三、
伊六、伊四、伊五

【石川島】

羽風

【浦賀】

秋風

【館山】

澤風、
大湊、神風、野風、波風、沼風

【函館】

大泊、
吳、矢矧、韓崎、比叡、最上、扶桑、伊勢、
衣笠、青葉、長鯨、熊野、三隈、鈴谷、
日向、鬼怒、神通、大井

夕顔、矢風、葛藤、東雲、白雲、綾波、
浦波、磯波、敷波

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、
呂二八、伊五一、伊五五、伊七一、
呂三四、呂三三、伊五三、伊五四、
伊五七、伊五六、伊五八、伊六八、
伊六九、伊七〇

攝津、隱戸、
蒼龍、千歲、千代田

【大阪】

古鷹、
山雲、峯雲

【神戸】

伊七二、伊七三、
荒潮、朝雲、伊八、伊七五

【相生】

常磐、
石廊

【江田内】

平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻、
叢雲、薄雲、
伊五二

【佐世保】

赤城、磐手、加古、榛名、霧島、金剛、
由良、名取、川内、迅鯨、羽黒、那智、
球磨、北上、龍巖

【梨竹】

榎、桃、柳、檜、董、蓼、
蓬、夕風、朝風、文月、水無月、

海軍公報(部内限)第二千七百八十二號

昭和十二年十二月六日

一一〇七